

## 総務部報告

副委員長 桑田正博



### 1. 活動経過報告

平成19年度

5月8日 道へき地・複式教育研究連盟定期総会

6月14日 第1回組織検討委員会  
・委員委嘱・委員長の選出

・今年度の検討課題と役割分担

8月3日 第2回組織検討委員会

・今年度の課題の検討

8月31日 へき地学校等指定基準に関する調査

9月20・21日 第56回全道へき地・複式研究大会空知大会

・第1回評議委員会

・組織検討委員会中間答申報告

28日 平成19年度基本調査提出

1月28・29日 第3回組織検討委員会

・答申のまとめ

### 2. 道へき・複連の組織体制の改善の検討

組織体制の面からは、現状の業務を考えると常任委員の削減は不可能である。削減するのであれば業務を削減するしかない。

今後一層厳しくなる現状を踏まえながら組織のあり方、業務内容の見直しについて検討していく。

### 3. 平成20年度教育予算要望とへき地級指定に関する取り組み

教育予算要望については、道教委の意向により、道小・道中・道教頭会の要望活動と一体となって行っている。当連盟からは道小へき地指名理事として、桑田副委員長がその任に当たり、道小の場で連盟の要望を反映してきた。今後も各地区からの要望事項の実現に努める。

また、へき地級別指定の見直しについては、平成21年度1月に実施することが明らかになっている。これに伴い文部科学省への指定基準の作成

に対し、北海道の実情に見合った基準改正となるよう、OB会・道小・道中等と連携を取りながら道教委への働きかけを行うとともに、全へき連に対しても再度文部科学省への要望活動を強める。

### 4. 調査活動について

#### (1) 全へき連の基本調査について

各地区より協力をいただき提出することができた。後日、各学校に配布予定。

この調査は、17年度から毎年実施することになり、より活用しやすいものにする意向である。

#### (2) 20年度教育予算要望に関わる調査

道小の予算要望策定に伴って、道へきの予算要望を各地区事務局長にお願いし集約して道小に提出した。道教委への20年度予算要望策定の際に、道へきの要望を取り上げてくれることになっている。

今後とも道小と連携し、関係機関への働きかけを通して、教育条件整備に取り組んでいきたい。

### 5. 今年度の組織検討委員会の活動概要

下記の検討課題について3回にわたり検討し、9月の評議委員会で中間答申を行った。

#### (1) 組織検討委員会の構成

委員長 阿部 政範 (道央ブロック)

委員 長政 康 (道南ブロック)

委員 木下 弘之 (道東ブロック)

委員 渡辺 輝男 (道北ブロック)

他に常任委員から (委員長・総務・研究・財政・事務局長) 5名の9名で構成。

#### (2) 平成19年度の検討課題

① 道へき・複連の組織体制の改善と情報のあり方

② 研究推進委員会事業内容の改善の検討

③ 今後の全道大会、プレ大会のあり方

④ 道へき連・複連の財政の健全化に向けての検討

⑤ 次期へき地指定見直しに関する件について

⑥ 教育条件整備について